

CREST・さがけ獲得支援の効果的な体制構築を目指す京都大学の取り組み

橋爪 寛、藤枝 絢子、渡辺 玲奈（京都大学 学術研究支援室）

京都大学 学術研究支援室（KURA）は、JST「CREST・さがけ・ACT-I」とAMED「AMED-CREST、PRIME」の公募領域の研究テーマを持つ本学の研究者が、もれなく情報を得て、適切なタイミングで応募を検討し、研究を提案できる環境づくりをめざしています。ここでは、支援の内容およびそれを支える運営体制の2つの面で、この取り組みをご紹介します。

◆支援の内容 支援数 **226件** 模擬ヒアリング実施数 **49件** *H25-29実績

支援案内

- 複数のルートで周知



【全学】チラシ、KURA WEBサイト

【部局】各部局で最適なルートで案内（メーリングリスト、掲示板、等）

【個別】応募可能性のある研究者へ個別に案内

学内説明会開催

- JSTによる事業紹介
- 採択者による経験談
- 他キャンパスへの遠隔配信



研究者との面談

- 研究者が求める支援を聞き、準備スケジュールを設定
- 領域説明会等でURAが収集した、公募領域に関する情報を提供
- 面談を通して、研究者とともに研究構想をつくりあげていくことも

申請書レビュー

- 1つの申請書に、2-3人の「複眼」でコメント
- URAのバックグラウンドや専門性を活用したフレキシブルなチーミング

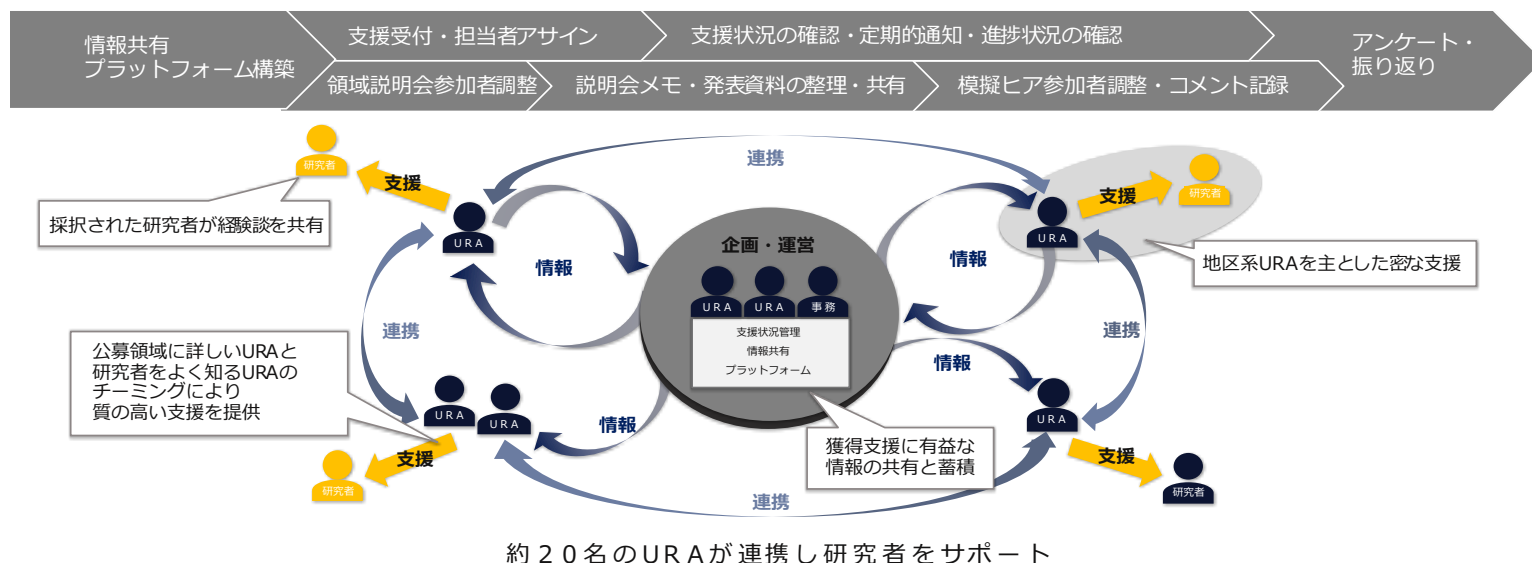


模擬ヒアリング

- できるだけ面接本番を再現
想定質問、URAとしてのコメント、ペル等
- 当日のコメントメモを即日配布
URA 5-7名程度でチーミング
- ビデオ撮影
- スライド資料ブラッシュアップ



◆支援の運営と実施体制



◆支援した研究者からの声

<情報提供>

「科研費申請との違いについての資料や公募説明会の様子のレポートは大変参考になった」
「要項では読み取れない、領域の求める課題についての情報を教えて頂いたことは大変役に立った」

情報提供満足度 **88%**

<申請書レビュー>

「戦略目標や領域内で重視している点を十分に把握し、申請書作成において適切なアドバイスがあった」
「多角的な視野や、大学内外の動向、期待していた以上の提供があった。また、単に文章を直すだけでなく、様々な提案を頂いた」

申請書レビュー満足度 **79%**

<模擬ヒアリング>

「スライド作成のポイント、雰囲気や面接の順序（進み方）、どんな点に領域アドバイザーたちが食いつかれるか、など実際の具体的な情報が手にはいった。また、領域アドバイザーのご専門などに関する詳細な情報も手に入り結果として非常に対策をしやすかった」

模擬ヒアリング満足率 **96%**